

決算特別委員会での主な 質疑・答弁

第3回定例会初日の9月6日、町長から提案された平成22年度城里町決算（8会計）について詳細に審査するため決算特別委員会が設置されました。
 決算審査は各議員が広く審議を行うことができるよう、常任委員会ごとの分科会方式により所管分の審査を行いました。各委員会での質疑・答弁等の主なものは次のとおりです。



委員会の審議状況

総務民生常任委員会

総務民生常任委員会は、会期中の9月7日に委員会を開催し、平成22年度一般会計決算の所管分・国民健康保険・老人保健・後期高齢者医療・介護保険特別会計の決算について審査しました。

（一般会計）

歳入

職により職務状況を評価し、面談によりお互いにやり取りも出来ている。

れた家電製品やタイヤ等の処分費である。

問 収納対策の強制執行について。

答 平成22年度は、差押えを116件。不動産公売2件を実施。平成23年度は、震災の関係で6月から強化実施している。

問 ハザードマップの内容と配布先について。

答 土砂災害マップであり、液状化分は表示していない。また、該当する地区に配布した。

問 老人センターの今後について。

答 利用者が増えるように考えている。

歳出

問 人事評価

はどのような評価方法をとっているのか。

答 個人が目標を設定し、上司と面談して設定している。最終的に2月頃に自己評価し、管理

問 光ファイバの保守委託料の桂地区と七会地区での差の理由は。

答 整備した年度の違いと電柱移転・道路改良等によって金額が変わる。

（国民健康保険特別会計）

問 不納欠損の理由について。

答 相続人のいない方の死亡等で徴収不可能なものである。

問 行政評価はどのような方法をとっているのか。

答 方向性を検討し、継続・拡充・縮小・廃止を行っている。

問 施設勘定で、震災の関係で休診日は何日あったか。

答 2日間である。

問 不法投棄廃棄物処理委託料について。

答 公共用地に不法投棄さ

教育産業常任委員会

教育産業常任委員会は、会期中の9月8日に委員会を開催し、平成22年度一般会計決算の所管分・公共下水道事業・農業集落排水事業・水道事業会計の決算について審査しました。

(一般会計)

歳入

問 町営住宅使用料の収入未済額について、今後の対策を強化し、どのように削減を目指していくか。

答 連帯保証人に納付指導を行うとともに、税務徴収員と連携し、徴収の強化を図っていく。

問 町営住宅使用料の滞納

者に法的な措置はとれないのか。

答 法的措置も視野に入れ近隣市町村・県営住宅等の状況を調査し、対策強化をしていきたい。

問 教育費補助金の有害図書

書について具体的な内容は。

答 青少年相談員にコンビ



委員会の審議状況

二等の雑誌で有害図書がある場合には、ビニール

で覆って中が見えないようになっているとか、また、他の雑誌と区分しているかなどの調査をお願いしている。

歳出

問 町として、畜産ヘル

パー制度を活用している

のか。活用していれば人数と内容は。

答 役員を含めて全員で

17名。牛引きの手伝いや、外出時の牛等のお世話を行っている。ほとんどが和牛改良組合

員である。

問 教育長の交際費の支出の内訳は。

答 ほとんどが香典である。町長と同じ基準で支出している。

問 ホロルの湯とキャンプ

場を町開発公社に委託しているが、町として経営

に対して意見を言うことは可能か。

答 年度ごとに事業計画を提出してもらい、指定管理料を支出しているのが可能である。

問 農家に対しての補助事

業の募集や告知をどのようにしているのか。

答 県の補助事業に関して、基本的に3名以上となっている。組合組織が基本であり、個別に町で相談を受けている。

(公共下水道事業)

問 計画面積の何%が事業確定したのか。

答 次の表のとおりである。

	常北地区	桂地区
計画面積	644ha	291ha
整備面積	281.9ha	225.3ha
整備率	43.8%	77.4%